

保護者様

栃木市立三鴨小学校長 富山 聡

令和7年度学校評価の集計結果報告について

春寒の候、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計結果がまとまりましたので、その概要をご報告いたします。皆様からいただいたご意見は、私たちにとって大変貴重なものです。今後も、いただいた声を学校づくりにしっかりと生かし、児童・保護者・地域の皆様とともに、より魅力ある学校を築いていきたいと考えております。お時間のある際にご覧いただけましたら幸いです。

記

○ 学校に関すること * 肯定的回答 … 「よくあてはまる」、「あてはまる」と回答したもの

※ 数値下の記号 …◎：増加（前年度比+4%以上） -：横ばい ▼：減少（前年度比-4%以下）

教育目標	調査項目と質問	肯定的回答*の割合 (%)	成果 (○) と今後の取組 (☆)
やさしい子	【人権教育】 学校は、互いに認め合う活動や人権意識を高めるための活動を行っている。	96.7 (-) ※	○朝・帰りの会で互いのよさを伝え合い、児童が認め合える環境を整えることができた。 ☆認め合いが特定の児童に偏らないよう、多様な視点で良さを見つける働きかけを継続する。
	【児童指導】 学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	96.7 (-)	○いじめ認知調査ファイルを活用して早期発見に努め、組織的な対応を実践できた。 ☆児童指導・特別支援・教育相談を軸とした組織的対応や校内事例研修の改善など、次年度への円滑な継承を図る。
	【道徳教育】 学校は、豊かな心を育てるために、道徳の授業を工夫するなど、道徳教育に力を入れている。	97.6 (-)	○道徳主任による「ちょこっと研修」や道徳だよりの発行を通じ、指導スキルの向上を図れた。 ☆授業で得た気づきを日常の具体的な行動に繋がられるよう、実践の場を意図的に創出する。
	【教育相談】 学校の教職員は、丁寧に子供の相談に応じている。	97.6 (-)	○Q-U結果やケース会議による早期対応を行い、SCとの連携も深めて組織的な支援を推進した。
	【学級経営】 学校は、子供たちの良い点やがんばりを認めている。	96.7 (-)	○「今週のチャンピオン」等の活動で、互いの良さに自然と拍手できる集団作りを推進した。 ☆今後も児童一人一人に寄り添った支援体制を継続する。
	【児童指導】 学校は、「三鴨小のきまり」を守った生活について指導している。	99.2 (-)	○一斉下校練習等の継続により、集合時刻を守ろうとする姿勢や時間を意識する様子が見られるようになった。 ☆指導に温度差が生じないよう同一歩調を徹底し、名札着用等のマナー向上を今後も粘り強く働きかける。
	【特別支援教育】 学校は、一人一人の教育的ニーズに応じた教育的配慮や支援を行っている。	93.5 (-)	○「すくすくシート」の活用や特支コーディネーターとの連携により、迅速な支援体制を整えた。 ☆多くの視点で児童支援することを大切にし、担任以外からも支援会議を提案するなど、今後も安心感のある支援体制を構築する。
	【児童指導】 学校は、必要に応じてお子さんの状況を保護者と共有するなど、連携しながら指導支援に努めている。	98.4 (-)	○「ちょこっとボランティア」を多く計画・実践し、保護者に児童の頑張りを直接感じ取ってもらったり、担任から伝えたりすることができた。 ☆ちょこボラを生かした多彩な支援の在り方を検討する。

か し い 子	【学校課題】 学校は、児童が自分の考えを伝え合う学習活動を行っている。	98.4 (-)	○図や言葉を用いた解法の表現に重点を置き、問い返しや切り返しを伴う意図的な学び合いにより他者の考えに触れて思考を深めた。 ☆今後はより重点を絞って授業改善の成果と課題を積み上げていく。
	【ふるさと学習】 学校は、地域の教材を扱う学習を積極的に行っている。	95.1 (-)	○渡良瀬遊水地やオヤジ祭り地域人材を活用し、郷土への愛着と理解を深めることができた。 ☆体験を単発で終わらせず、地域の課題を自らの問題として捉える探究的な学びに発展させる。
	【学習指導】 学校は、分かりやすい授業づくりのために、いろいろな取組を行っている。	98.4 (-)	○黒板前に集まり全体で話し合う「練り合い」を実践するなど、新たな関わり合いを模索し、児童が主体的に考えて活動する姿を引き出した。 ☆今後も児童と一緒に授業のねらいを立ててから振り返りに繋げるプロセスを大切に、日々の指導に確実に活かしていく。
	【情報教育】 学校は、ICT 機器を積極的に活用し、学びの充実等を図っている。	91.9 (-)	○端末を効果的に活用し、情報を整理して他者と共有するスキルを高めた。また、情報モラルに関する指導を継続した。 ☆ICT を提示ツールに留めず、児童が主体的・対話的に学びを深めるための有効な活用場面をさらに精査する。
た く ま し い 子	【学校行事・特別活動】 学校は、子供たちの主体的な活動を支援し、楽しく取り組めるようにいろいろな行事を工夫している。	95.1 (-)	○児童主体の企画・運営の場を広げたことで、役割意識と責任感が高まり、リーダーシップ、フォロワーシップの育成につながった。 ☆活動の形骸化を防ぐため、児童の発想を生かした内容改善と、活動の意義を再確認する指導を継続する必要がある。
	【体育指導】 学校は、子供たちの体力向上に向けて運動の指導を工夫している。	95.9 (◎)	○各学年や行事と連携し、年間計画を踏まえた体育授業を計画的に実施することができた。 ☆児童の実態に応じたルール改善や活動内容の精選を進め、より効果的な授業づくりを継続する必要がある。
	【清掃指導】 学校では、子供たちの勤労奉仕の心を育てるための清掃や当番活動などの指導を工夫している。	96.7 (-)	○当番活動のねらいを明確にした指導により、勤労意識と学級内の協力体制が育まれた。 ☆児童に清掃・当番の意義をより分かりやすく伝えるとともに、児童だけでなく、教職員も主体的に取り組む活動へと改善する必要がある。
	【安全教育】 学校は、子供たちの登下校や避難訓練などの安全に気を付ける指導を工夫している。	97.6 (-)	○避難訓練や一斉下校指導を通して、緊急時に自ら考えて行動する意識と具体的な安全行動が定着した。 ☆安全意識を日常的に継続させるとともに、地域・保護者・関係機関との情報共有を一層深める必要がある。
	【安全管理】 学校は、校舎や校庭などの教育環境整備を心掛けている。	95.9 (-)	○定期的な安全点検と改善により、児童が安心して過ごせる学校環境を保つことができた。 ☆点検が慣れにならないよう、見方や項目を見直し、学校全体での確認体制を続けていく必要がある。
学 校 地 域 と 共 に あ る	【家庭地域連携】 学校は、アシストネットや PTA などの関係機関と連携を図っている。	95.1 (-)	○学校間で情報を共有したりオンラインで交流したりすることで、藤岡地区の連携が深まり、日々の指導にも生かすことができた。 ☆交流が形だけにならないよう、学習内容や指導方法について具体的な話し合いを増やす必要がある。
	【家庭地域連携】 学校は、学校の様子を積極的に家庭や地域に公開している。	94.3 (▼)	○ホームページを活用して児童の様子を積極的に発信し、保護者からの認知度が高まり、学校への信頼感向上につながった。 ☆ホームページ作成を担当だけでなく、分担して全校的に発信する体制を整える必要がある。

